

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	発達支援つむぎ 調布ルーム		
○保護者評価実施期間		2025年8月20日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56 (回答者数)	60
○従業者評価実施期間		2025年8月20日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		2025年10月16日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るために取組等
1	地域との関わり	支援の中に社会資源を使用する活動を行っている。社会資源を使用することにより、地域の方との関わりを持つことができ、知っている人を増やし地域に愛着を持ち安心して過ごすことができる場所が増える機会としている。	さらに地域との関わりを持つことができるよう、子どもたちが選び取りながら社会資源に出向く活動を行うことや、地域とのイベント等を企画していく。また、地域で働く人や職業などのへの理解にもつなげることができるような取り組みを行っていく。
2	異年齢支援・相手と関わることができる支援の提供	年齢で分けるのではなく、異年齢で取り組む意味を大切にしている。お子さまによって得意なこと苦手なことがあります、お互いが助け合い、役割を取れるように機会を設けている。また、遊びの幅や相手と関わる楽しさを感じることができるよう、個別支援の際に他児と関わる機会も取り入れている。	異年齢・相手と関わることの大切さをより保護者の方が感じができるよう、フィードバック等を通して伝えていく。また、様々な活動を通して集団で取り組む楽しさをお子さまに感じていただくことができるよう、支援を提供していく。
3	植物や生物に触れる経験を積む	子どもたちが自発的に植物や生き物に「触れたい」という気持ちを育むことができるよう、カフェでの飼育を心がけている。また、支援の中に世話をする活動を取り入れ、子どもたちにねらいを持って植物・生き物に触れてもらう機会を提供している。	畑仕事を行っているが、収穫物をさらに使用していくことができるよう、調理の他に普段お世話になっている地域の方へ収穫物を渡しに行く取り組みなどを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	調布ルームの取り組みの発信	つむぎ 調布ルームでの取り組みを、毎月のブログ配信で行っているが、その他に発信する機会が少ない状態と感じている。つむぎが行う取り組みを早くから知りたかったという声をいただくことも多いため、外部・地域への発信を広げていく。	まずは施設外につむぎの取り組みやどのような事業所であるかを認知することができるよう、情報の掲示を行う。また、取り組み内容を引き続きブログを中心により深く発信していく。
2	地域への認知が深まり、児童発達支援の敷居が下がる	地域に少しずつ根付くことができ、西調布の店・事業所・社会資源にイベントや企画等に参加していただく事が増えている。低年齢のお子さまの問い合わせは増えているが、踏み出すまでの敷居が高い様子が見られており、まだ気軽に子育て世代が来る場所とはなれていまい。	児童発達支援とはどのような場所であるかを子育て世代の保護者に発信していくとともに、最初の窓口として保護者が利用が多い、役所へも現状を伝えていく。保護者がいつでも気軽に相談や見学に来ることができる施設であることを引き続き伝えていく。
3	地域保育園・児童発達支援に知られる	昨年度より関連事業所を取りまとめるコア事業所としての役割で動き出しをしており、今年度は多くの方にコア事業所として選定していただいている。そのため、事業所間との繋がりを持つ機会が増えているが、調布市・府中市全ての事業所との繋がりを持つまでは達していない。	より多くの事業所と繋がることができるよう、連携会議を始めとし訪問や情報の共有などを行う頻度を増やしていく。園との関わりなども広げていけるよう、園訪問や地域イベントなどの提案を引き続き行っていく。

2025年度 発達支援つむぎ 調布ルーム 利用者アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について ※平均スコア4.0を下回る設問について改善策を記載します。
保護者様やお子さまへの説明	Q4	ご契約時に契約内容、料金、非常時の対応・避難経路について、丁寧で分かりやすい説明がありましたか。	4.9	
	Q5	登園時・降園時にスタッフは気持ちの良い挨拶をしていますか。	5.0	
	Q6	登園時にご家庭での様子をもれなく聞き取りできていますか。	4.5	
	Q7	スタッフからお子さまへの言葉がかけは分かりやすく、適切ですか。	4.9	
	Q8	スタッフはお子さまの様子や活動後の振り返り、保護者様からのご質問に対して、分かりやすくお伝えしていますか。	4.9	
支援の提供について	Q9	個別支援計画の内容は、お子さまのご様子にあった適切な支援目標が設定されていると思いますか。	4.9	
	Q10	支援の内容は、お子さまの支援目標に沿っているものだと思いますか。	4.8	
	Q11	イベント開催告知や活動内容など、お子さまや保護者様に対して、分かりやすく情報発信できていると思いますか。	4.8	
	Q12	保護者様やお子さまからご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応していると思いますか。	4.9	
	Q13	お子さまは必要な支援を受けられると感じていますか	4.8	
環境・体制	Q14	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であると思いますか。	4.7	
	Q15	スタッフ同士の情報共有は適切に行われていると思いますか。	4.8	
関係機関との連携	Q16	保護者様同士がつながりを持てるようなイベントが企画されていますか。	4.0	
	Q17	子育てや家庭でのことを気軽にスタッフと話ができますか。	4.7	
	Q18	所属の幼稚園や保育園、利用している療育センターなどの児童発達支援事業所などと連携をとった支援をしていると思いますか。	4.1	
満足度	Q19	ご利用されているつむぎを他の方に勧めたいですか？ (※最大スコア10)	9.4	
	Q20	つむぎでの活動を通じて、お子さまの成長や変化を実感したことがございましたら、ご自由にお書きください。		温かいコメントを沢山いただきました。ありがとうございます。より良い支援をこれからも提供できるよう、スタッフ一同邁進してまいります。
	Q21	最後に本ルームの運営についてお気づきの点がございましたら、ご自由にお書きください。		たくさんのご意見ありがとうございました。改善すべき点は真摯に受け止め対応してまいります。みなさまからのお声に応えられるように今後も努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

アンケート実施期間:2025年8月20日～9月5日

回答数: 60

発達支援つむぎ 調布ルーム
施設長 山内 優里奈